

■三遊亭圓遊(初代)
さんゆうていえんゆう
国定忠治磔・1850＝

噺家。珍芸が人気絶大，古典落語に明治の風俗を取り入れて，近代落語の祖となり，初代とされる。

江戸・小石川小日向水道町の藤屋という紺屋・竹内清五郎の長男に生まれた。本名は竹内金太郎。

ペリー来航・1853＝ 3歳：

安政の大獄・1859＝ 9歳：

桜田門外変・1860＝10歳：

遣欧使節・・1861＝11歳：同業の紺屋に奉公に出され，

薩長同盟・・1866＝16歳：家業を継ぐ。

明治維新・・1868＝18歳：この頃，_病気になって堅気の商売に嫌気がさし，初代三遊亭円朝に入門を志すがはたせず，2代五明楼玉輔に入門，志う雀の名をもらった。維新後に玉輔が一時廃業したため，

学問のすすめ1872＝22歳：この頃，_あらためて円朝門にはいり，円遊(本来は3代目)の名を許される。

明治6年政変 1873＝23歳：

西南戦争・・1877＝27歳：

大久保暗殺・1878＝28歳：この頃，*高座でたち上がって踊るステテコで人気をとり，

・・・・・1880＝30歳：*日本橋の寄席(伊勢本)で真打の看板をかかげた。

明治14年政変1881＝31歳：

_“ステテコの円遊”とも，大きな鼻を売り物にして“鼻の円遊”ともよばれ，10年代後半ラッパの円太郎，ヘラヘラの万橋，釜掘の談志とならんで寄席珍芸の四天王と称されて一世を風靡。仲間内の席順も上がり，

帝国大学始・1886＝36歳：

帝国憲法発布1889＝39歳：*三遊派では初代三遊亭円朝，4代三遊亭円生，4代桂文楽につぐ四枚目の位置となる。

日清戦争始・1894＝44歳：「三遊社一覧」では副頭取になっている(円生が頭取，円朝は社長)。

日清戦争終・1895＝45歳：

_門弟もふえて一大勢力となり，

ヒア国産化・1900＝50歳：円朝の死去後は，4代円生一派や席亭の連合などとの確執を生じてもいる。

明治30年代はしばしば上方に出演，

日露戦争始・1904＝54歳：初代笑福亭福松没後の浪花三友派たて直しにも一役買った。

日露戦争終・1905＝55歳：

_日露戦争前後の寄席不況で人気にややかげりが出はじめ，最晩年には中風を病んだが，

韓国反日暴動1907＝57歳：

*死の1月前まで高座をつとめて，没した。
新作を多く演じたほか，「野ざらし」「船徳」「死神」などの噺を明るく滑稽に改作して後世にのこした。